

NE VISION

第53期 株主通信

2014年7月1日～2015年6月30日

株主のみなさまへ 1

決算ハイライト 3

トピックス 4

部門別の概況 5

主要財務データ 6

企業インフォメーション 9

株主メモ 11



大日本コンサルタント株式会社
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.

株主のみなさまへ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。株主通信をお届けするにあたり、2015年6月期の経営概要と今後の経営方針についてご報告申し上げます。

当期は、「市場環境の変化に対応できる力と体制の整備」、「信頼性の更なる向上」、「社内インフラの改築」の3つの基本方針に基づいて、主に次の取り組みを行いました。

市場環境の変化に対応できる力と体制の整備

国内における公共事業では、東日本大震災の復興関連事業やインフラ施設の新規建設事業が漸減する一方で、防災・減災事業や既存インフラ施設の有効活用を図る事業の割合が増えています。また、多様な入札・契約方式の採用も動き始めており、建設コンサルタントが活躍できる分野も広がりつつあります。このような変化に対応するために、インフラ技術研究所の設立による新たなブランド技術の開発や海外事業体制の強化などに注力しました。

信頼性の更なる向上

株主の皆様を始め、社員、顧客、投資家、金融機関、協力会社、社会など、すべてのステークホルダーからの厚い信頼を得ることが、会社が存続・発展するための基本要件です。したがって、「品質の確保」、「適正な利益の確実な確保」、「職場のゆとり創出」、「コンプライアンスの徹底」のための施策実施に重点を置きました。

社内インフラの改築

建築後50年近く経過した東京支社の社屋、情報通信技術の進化に取り残されつつある社内の情報システム、時代に合わなくなった社内の制度や規則など、老朽化・陳腐化した各種の社内インフラの改築に着手しました。東京支社は、さいたま新都心へ移転して去る7月21日から関東支社として生まれ変わりましたし、その他のインフラについても改築が進んでいます。

以上の取り組みによって当期の業績は、受注高が133億5千3百万円(前期比92.4%)、売上高が136億1百万円(同104.4%)、営業利益が8億2千7百万円(同99.2%)、経常利益が8億3千1百万円(同99.1%)になりました。そして当期純利益は、退職給付信託設定益と投資有価証券売却益の合計で1億5千5百万円の特別利益を計上できた一方で、東京支社の移転に伴う固定資産の減損損失と事務所移転費用の合計で4億9千5百万円の特別損失を計上した結果、2億6千万円(同71.3%)となりました。この結果を踏まえまして、期末配当は1株当たり8円の普通配当に1円の記念配当を加えて9円とさせていただきます。

2016年6月期は、市場環境の変化が当期以上のスピードで進むものと想定しています。同期においても前述の3つの基本方針に基づいた施策を着実に実施してまいります。同期の業績見込みとして売上高140億円、営業利益8億4千万円、経常利益8億2千万円、当期純利益4億2千万円を計画しています。この達成に向けて邁進いたしますので、株主の皆様には今後も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年9月 代表取締役社長 高久 晃

土木学会田中賞受賞(平成26年度)



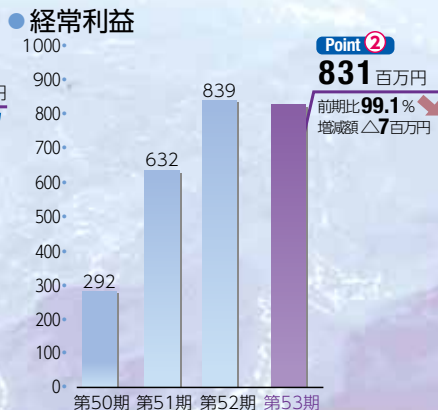
【伊良部大橋】

本年1月に開通した伊良部島と宮古島間を繋ぐ橋梁であり、当社は、株式会社中央建設コンサルタントとのJVで主航路部の詳細設計と全線に対する景観デザインを担当しました。

決算ハイライト

- Point ① 売上高は、豊富な受注業務量が確保できた結果、前期比104.4%で4期連続増収。
- Point ② 経常利益は、東京支社の移転による一時的な費用等により、前期比99.1%で若干減益。
- Point ③ 当期純利益は、4期連続の黒字を達成し、記念配当を含め9円実施(配当性向25.4%)。

(単位：百万円)



注. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

関東支社、新たなステージへ



東京支社は、昭和41年に埼玉県越谷市に社屋が建設されてから半世紀にわたり当社の主力事務所として操業してまいりましたが、本年7月17日をもって閉所いたしました。閉所式にあたっては歴代社長やOB社員をお迎えし、思い出に終始笑顔があふれておりました。

そして本年7月21日には埼玉県さいたま市に新たに事務所を開所し、名称を関東支社に変更いたしました。これまで以上に主力事務所としての役割を果たすべく操業を開始いたしました。



関東支社

〒330-6011 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2
(明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー 11階)

部門別の概況

(単位：百万円)

構造保全

受注高 **6,562** 増減額△452 前期比 93.6% 受注高 構成比 49.1%

売上高 **6,516** 増減額 0 前期比 100.0% 売上高 構成比 47.9%

【事業内容】

橋梁や地下構造物等を中心とした新設構造物の計画・設計業務及び既存構造物の点検・補修・補強、修繕計画等の保全関連業務

【主な受注業務】

- ・東京都より等々力大橋（仮称）橋梁詳細設計業務
- ・本州四国連絡高速道路管内における瀬戸大橋（吊橋）耐震性能照査業務

社会創造

受注高 **4,156** 増減額△349 前期比 92.3% 受注高 構成比 31.1%

売上高 **4,459** 増減額 674 前期比 117.8% 売上高 構成比 32.8%

【事業内容】

道路計画・設計、交通計画、都市及び地方計画、環境調査・計画等に関する業務

【主な受注業務】

- ・岐阜県における道の駅防災機能強化型次世代エネルギー導入推進事業委託業務（南飛騨小坂はなも）
- ・群馬県下仁田町における人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略策定支援業務

防災

受注高 **1,655** 増減額△215 前期比 88.5% 受注高 構成比 12.4%

売上高 **1,821** 増減額 90 前期比 105.2% 売上高 構成比 13.4%

【事業内容】

河川・砂防計画、地質調査、探査、港湾等の調査・計画・設計に関する業務

【主な受注業務】

- ・荒川上流河川事務所管内における荒川中流部築堤段階施工外検討業務
- ・湯沢河川国道事務所管内における八幡平山系（秋田県側）大規模土砂災害危険度調査検討業務

海外・施工管理

受注高 **978** 増減額 △81 前期比 92.4% 受注高 構成比 7.4%

売上高 **804** 増減額△190 前期比 80.9% 売上高 構成比 5.9%

【事業内容】

国外における道路及び橋梁建設プロジェクトの調査・計画・設計業務ならびに国内外における工事の実施に関する施工監理業務等

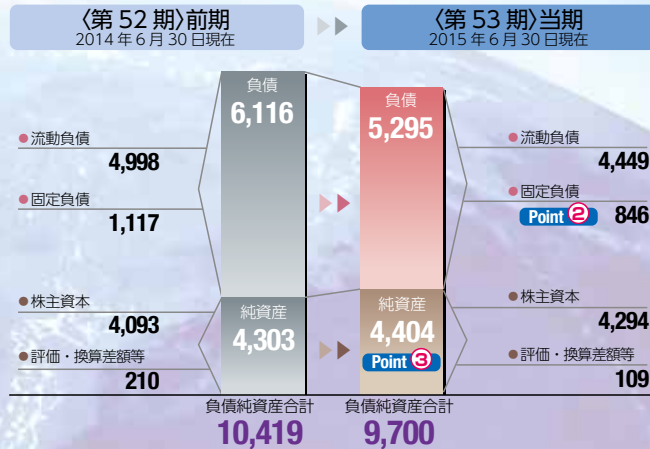
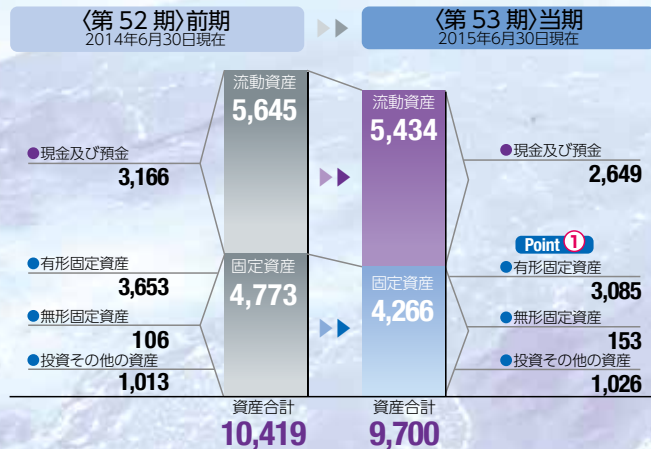
【主な受注業務】

- ・国際協力機構（JICA）よりザンビア国における橋梁維持管理能力向上プロジェクト
- ・西日本高速道路（NEXCO西日本）管内における阪和自動車道と歌山管内土木工事施工管理業務

貸借対照表の概要

- Point ①** 有形固定資産は、東京支社の移転決定に伴う減損損失の計上による減少。
Point ② 固定負債は、有利子負債の返済と退職給付信託の設定により減少。
Point ③ 純資産合計は、当期純利益の計上により増加(自己資本比率45.4%に改善)。

(単位：百万円)



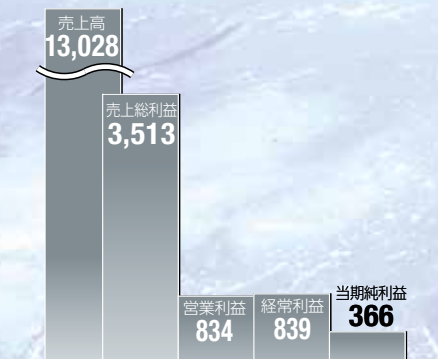
注。記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書の概要

- Point ① 売上高は、豊富な受注業務量を背景として生産効率が高まった結果、前年同期比104.4%の増収。
- Point ② 営業利益は、東京支社の移転による一時的な費用等により、前年同期に比べ若干減益。
- Point ③ 当期純利益は、減損損失の計上により、前年同期に比べ減益。

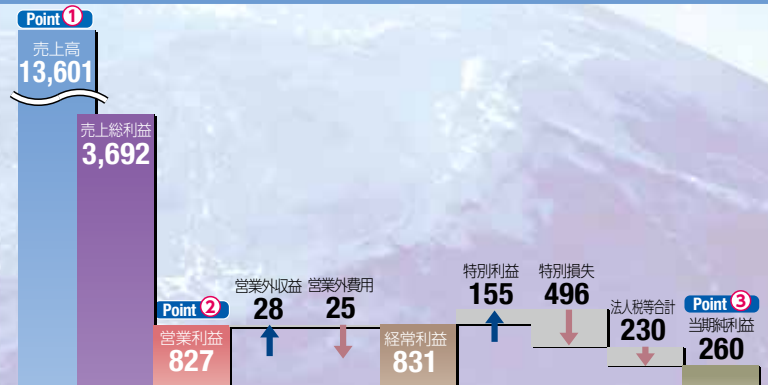
〈第52期〉前期

2013年7月1日から2014年6月30日まで



〈第53期〉当期

2014年7月1日から2015年6月30日まで



注. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書の概要

Point ① 営業活動CFは、受注業務の選択と集中により業務受入金が増加した結果、1億8千2百万の使用。

Point ② 投資活動CFは、投資有価証券の売却等により、前年同期比55.8%の使用に改善。

Point ③ 財務活動CFは、有利子負債の減少等により、前年同期比37.7%の使用に改善。

(単位：百万円)

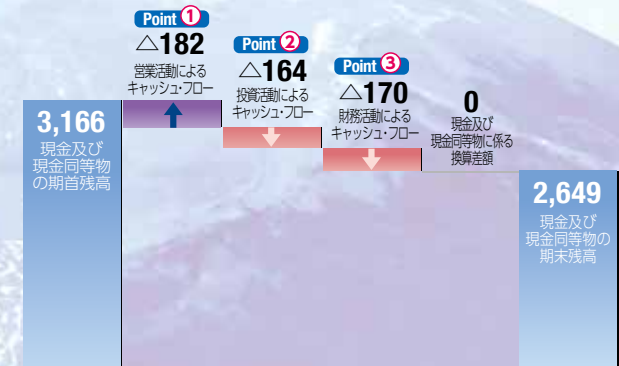
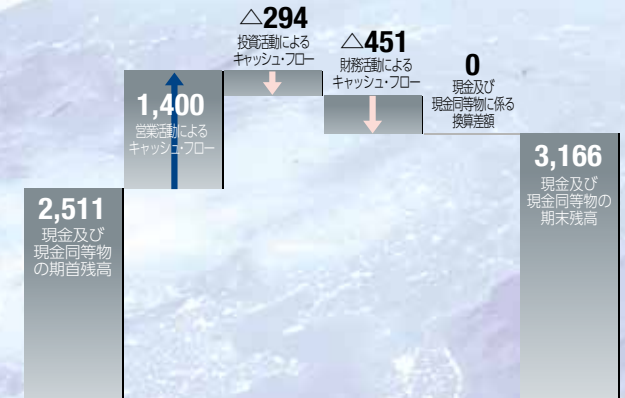
〈第52期〉前期

2013年7月1日から2014年6月30日まで



〈第53期〉当期

2014年7月1日から2015年6月30日まで



注1. △印は、マイナスを示しております。

2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

企業インフォメーション

会社概要

(2015年6月30日現在)

社 名 大日本コンサルタント株式会社
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.
設 立 1963年(昭和38年)1月23日
資本金 13億9千9百万円
社 員 社員総数 590名(男性547名 女性43名)
平均年齢 44.8歳
平均勤続年数 16.2年
子会社 Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd.
NEテクノ株式会社

役員一覧

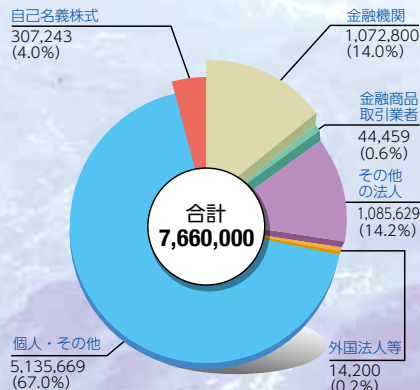
(2015年9月18日現在)

代表取締役社長	高久 晃	常勤監査役	橋本 豊
専 務 取 締 役	土井 朗	社外監査役	鎌田 廣司
常 務 取 締 役	新井 伸博	社外監査役	松本 靖彦
取 締 役	古味 敏行		
取 締 役	楠本 良徳		
取 締 役	中岡 和伸		
取 締 役	井藤 晋介		
社 外 取 締 役	吉田 勝		

所有者別株式数の分布

(2015年6月30日現在)

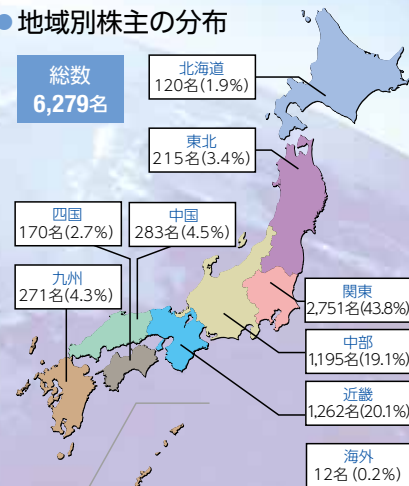
●所有者別株式数の分布



地域別株主の分布

(2015年6月30日現在)

●地域別株主の分布



株式の状況

(2015年6月30日現在)

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,660,000株
株主数	6,279名
	(前期末比2,647名増)

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大日本コンサルタント社員持株会	688	9.37
大日本コンサルタント社友持株会	482	6.56
株式会社 北陸銀行	325	4.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	274	3.73
古河機械金属 株式会社	190	2.59
株式会社 三菱東京UFJ銀行	181	2.47
川田テクノシステム株式会社	172	2.34
富士前鋼業 株式会社	165	2.24
富士前商事 株式会社	146	1.99
三菱UFJ信託銀行株式会社	140	1.90

- 注1. 自己株式307千株は上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式をを控除して計算しております。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数のうち、信託業務に係る株式数は274千株であります。なお、その内訳は、信託口137千株、退職給付信託口137千株であります。

単元未満株式(1株～99株)をお持ちの株主様へ

単元未満株式(1株～99株)とは

当社の最低売買単位である1単元(100株)に満たない株式のことをいい、単元未満株式(1株～99株)については、証券市場で売買することはできません。

単元株式

- 株主総会で議決権を行使できる。
- 証券市場で売買できる。

単元未満株式

- ×株主総会で議決権を行使できない。
- ×証券市場で売買できない。

単元未満株式の買増および買取、配当金受領方法など

- 株主様の口座があるお取引の証券会社にお問い合わせください。
- 証券会社に口座がなく特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社(☎0120-232-711)にお問い合わせください。

単元株式(100株)にするには

単元未満株式をお持ちの株主様は、当社に対し市場価格で、単元未満株式につき、**単元株式(100株)にするために必要な株数を当社からご購入(買増制度)または単元未満株式をご売却(買取制度)**いただくことが可能です。

(例) 45株をお持ちの株主様の場合

買増制度

55株(お持ちの45株を100株にするために必要な株式)を、当社から市場価格でご購入いただけます。

買取制度

当社が、45株を市場価格で買い取らせていただきます。

また、単元未満株式の買増および買取にかかる当社の手数料は無料ですので、ご利用をご検討ください。

注. お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

株主メモ

株式に関する事項

事業年度	7月1日～翌年6月30日
定時株主総会	毎年9月
基準日	定時株主総会 6月30日 期末配当 6月30日
1単元の株式の数	100株
公告の方法	電子公告により行います
公告掲載URL	http://www.ne-con.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第二部)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)

当社お問い合わせ窓口

経営企画室 〒170-0003 東京都豊島区駒込三丁目23番1号
TEL 03-5394-7611(代) E-mail info@ne-con.co.jp

IR年間スケジュール

第1 四半期			第2 四半期			第3 四半期			第4 四半期		
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
通期 決算発表			第1 四半期決算発表			第2 四半期 決算発表			第3 四半期 決算発表		
招集通知送付			株主総会開催 期末配当金支払開始						期末配当株主確定		

ホームページのご案内

会社情報、事業紹介、株主・投資家情報などを公開しております。ぜひご利用ください。

大日本コンサルタント 検索 <http://www.ne-con.co.jp/>



この用紙は再生紙を利用しています。



ユニバーサルフォントを使用しています。